

矢崎総業 研究助成金贈呈式を開催 矢崎学術賞決定

矢崎科学技術振興記念財団は、今年度の「研究助成金」受領者15人と「矢崎学術賞」受賞者3人を決定し、2月29日に東京プリンスホテルで贈呈式を開催した。

同財団の研究助成は、「材料・デバイス」、「環境・バイオサイエンス」、「エネルギー・情報通信」の分野を対象領域とする。今回、200万円の「一般研究助成」には5件、原則35歳以下の研究者を対象とする100万

鈴木大地主任研究員（技術総合研究所センシングシステム研究センター）と星本陽一准教授（大阪大学）が選ばれた。

同財団は、矢崎総業の設立40周年を記念して設立され、1983年以来、科学技術の発展を目的として研究助成事業を



贈呈式の記念写真

行っている。今年度も、独創的かつその成果が科学技術の発展に大きく貢献すると考えられる研究者を対象として選考した。

